

2021年3月期（連結）

第2四半期 決算説明会

2020年11月30日



株式会社 不動テトラ

(ご説明資料)

- **2021年3月期（連結） 第2四半期 決算説明会**

【目次】

【第1部】

1. 全社業績
2. セグメント別業績
3. 主な完成工事と受注工事
4. トピックス

【第2部】

1. ブロック環境事業について

(ご参考資料)

- **2021年3月期 第2四半期決算短信（連結）**
- **2021年3月期（連結）第2四半期決算補足説明資料**
- **CSRレポート**

◆ 業績結果

(単位：億円)

	2020.3月期	2021.3月期	前期比
	第2四半期	第2四半期	
期初手持ち受注高	772	768	▲4
受注高	357	282	▲75
売上高	334	309	▲25
売上総利益 (率)	57.2 (17.1%)	52.5 (17.0%)	▲4.6 (▲0.1%)
販売費及び一般管理費	33.9	33.2	▲0.7
営業利益 (率)	23.3 (7.0%)	19.4 (6.3%)	▲3.9 (▲0.7%)
営業外収益	0.0	0.1	0.1
経常利益	23.3	19.4	▲3.9
特別損益	0.0	▲0.4	▲0.5
法人税等	7.2	6.4	▲0.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16.1	12.5	▲3.6

(受注高)
新規受注が振るわず、受注は減少し、282億円
(前年同四半期比20.9%減)

(売上高)
期初手持ち受注高が768億円と高水準な状況を
維持するも、減収となり、309億円
(前年同四半期比7.3%減)

(営業利益)
減収により減益となり、19.4億円
(前年同四半期比16.9%減)

(経常利益)
営業外収支は均衡し、営業利益と同じく、
19.4億円
(前年同四半期比16.7%減)

(親会社株主に帰属する四半期純利益)
特別損益事項も特筆するものなく、12.5億円
(前年同四半期比22.3%減)

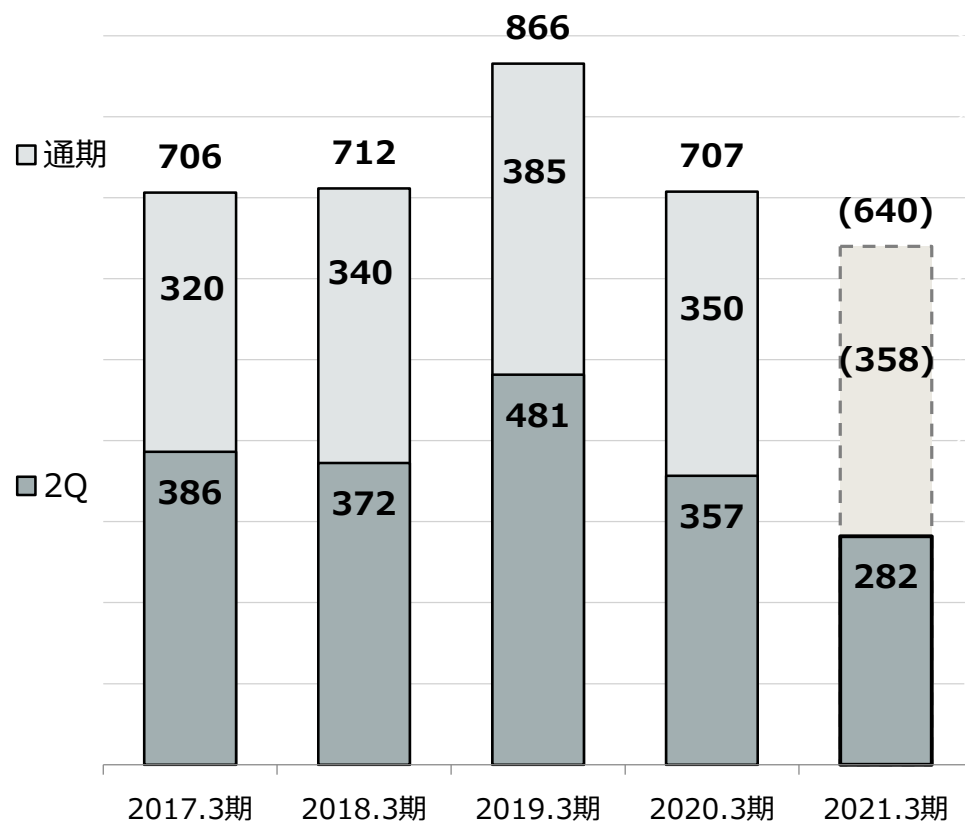
受注・売上の5ヶ年推移

※見通しについては（ ）書きにしております

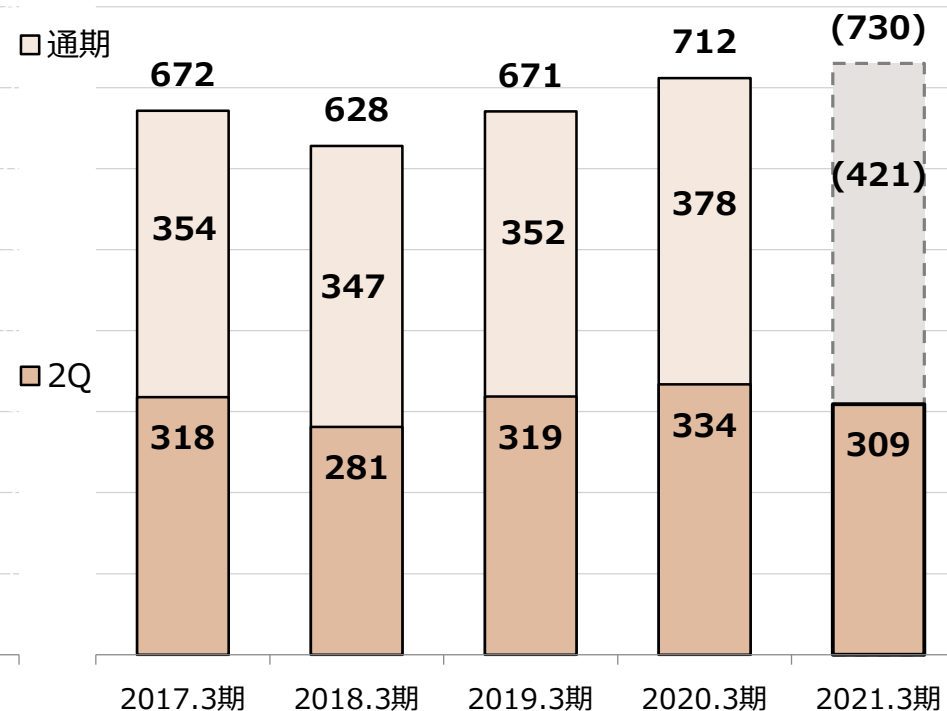


株式会社 不動テトラ

◆ 受注高（億円）



◆ 売上高（億円）



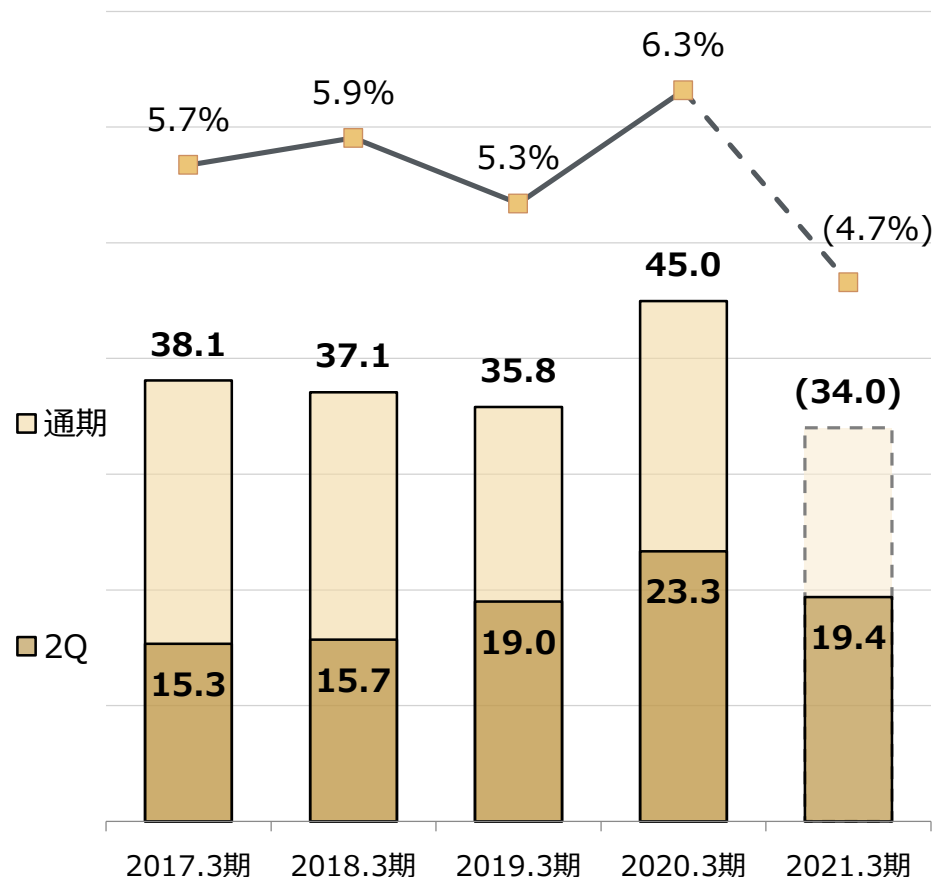
全社業績（連結）

※見通しについては（ ）書きにしております

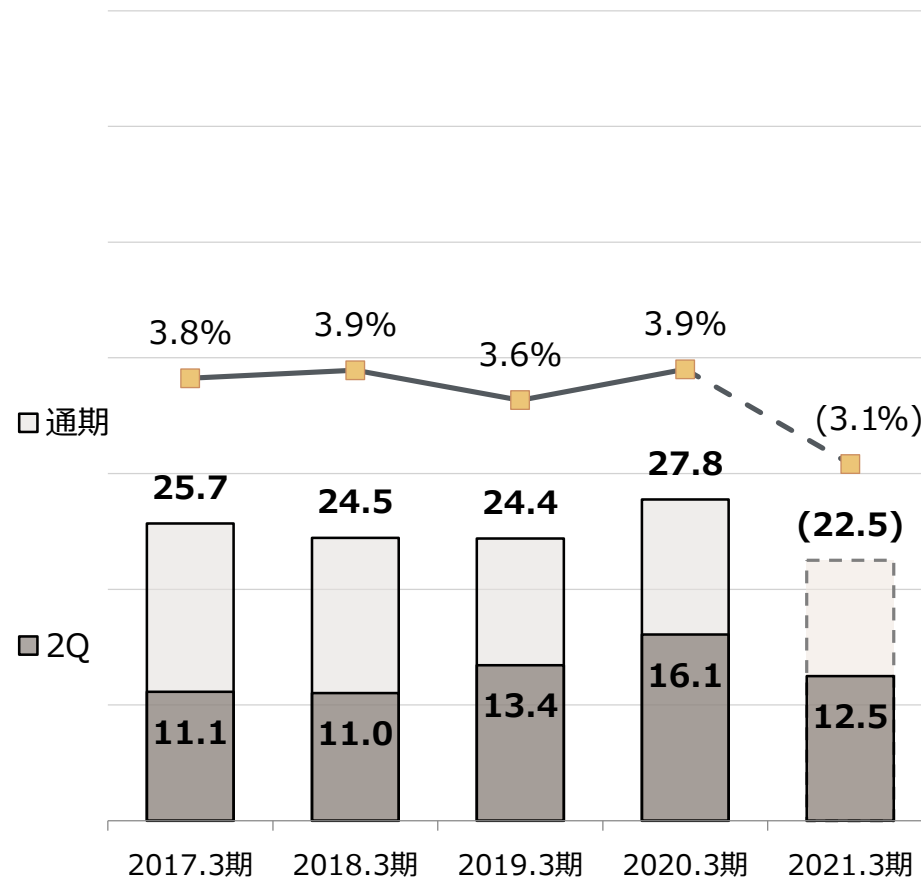


株式会社 不動テトラ

◆ 営業利益（億円） 営業利益率（%）



◆ 親会社株主に帰属する当期純利益（億円）



セグメント別全社業績 2Q



株式会社 不動テトラ

(単位：億円)

	2020年3月期	2021年3月期	前期比
	第2四半期	第2四半期	
受注高	357	282	▲75
土木事業	171	102	▲69
地盤改良事業	163	157	▲6
ブロック事業	20	28	8
売上高	334	309	▲24
土木事業	168	161	▲7
地盤改良事業	148	135	▲13
ブロック事業	18	14	▲4
売上総利益	57.2	52.5	▲4.6
(率)	(17.1%)	(17.0%)	(▲0.2%)
土木事業	17.5	19.2	1.7
(率)	(10.4%)	(11.9%)	(1.5%)
地盤改良事業	31.3	23.9	▲7.3
(率)	(21.1%)	(17.7%)	(▲3.4%)
ブロック事業	7.7	8.6	0.9
(率)	(42.7%)	(60.1%)	(17.4%)
販売費および一般管理費	33.9	33.2	▲0.7
営業利益	23.3	19.4	▲3.9
土木事業	7.4	9.2	1.9
地盤改良事業	13.7	6.7	▲7.0
ブロック事業	2.1	3.1	1.0

(土木事業)

受注高は、期初手持ち工事が豊富なことから施工人員が逼迫し新規受注が振るわず102億円（前年同四半期比40.5%減）。

売上高は161億円（前年同四半期比4.1%減）とわずかに減収となりました。

営業利益は、減収となったものの手持工事の採算性改善が集中し、9億2千万円（前年同四半期比25.6%増）と増益となりました。

(地盤改良事業)

受注高は、新型コロナウイルス感染症による海外での受注の遅れを国内工事で補填し157億円（前年同四半期比3.8%減）と前年同四半期とほぼ同水準を保った。

売上高は国内外で工事進捗遅れにより135億円（前年同四半期比8.6%減）と減収となりました。

営業利益は、減収に加え工事の遅れによる保有船舶の稼働率悪化などにより6億7千万円（前年同四半期比50.9%減）と減益となりました。

(ブロック事業)

受注高は、主力の型枠賃貸が前年までの災害需要により順調に推移し28億円（前年同四半期比38.2%増）。

売上高は、商品販売の減により14億円

（前年同四半期比21.1%減）と減収となったものの、型枠賃貸は増収となったことで、

営業利益は、3億1千万円（前年同四半期比49.1%増）の増益となりました。

※全社計には3セグメント以外の数値及び連結調整額が含まれるため、3セグメントの合算値と全社計は一致していません。

セグメント別全社業績通期予想



株式会社 不動テトラ

(単位：億円)

	2020年3月期	2021年3月期	前期比
	通期実績	通期予想	
受注高	707	640	▲67
土木事業	368	290	▲78
地盤改良事業	305	310	5
ブロック事業	36	40	4
売上高	712	730	18
土木事業	342	370	28
地盤改良事業	332	320	▲12
ブロック事業	37	40	3
売上総利益	119.6		
(率)	(16.8%)		
土木事業	33.6		
(率)	(9.8%)		
地盤改良事業	67.9		
(率)	(20.4%)		
ブロック事業	16.6		
(率)	(45.0%)		
販売費および一般管理費	74.6		
営業利益	45.0	34.0	▲11.0
土木事業	13.0	11.0	▲2.0
地盤改良事業	32.0	18.5	▲13.5
ブロック事業	4.9	7.5	2.6

通期の業績予想につきましては、

2020年8月6日に公表しました、2021年3月期連結業績予想に変更はありません。

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、土木事業及びブロック事業への影響は軽微なものの、地盤改良事業での海外及び国内の民間工事の一部に影響が出る見込みです。

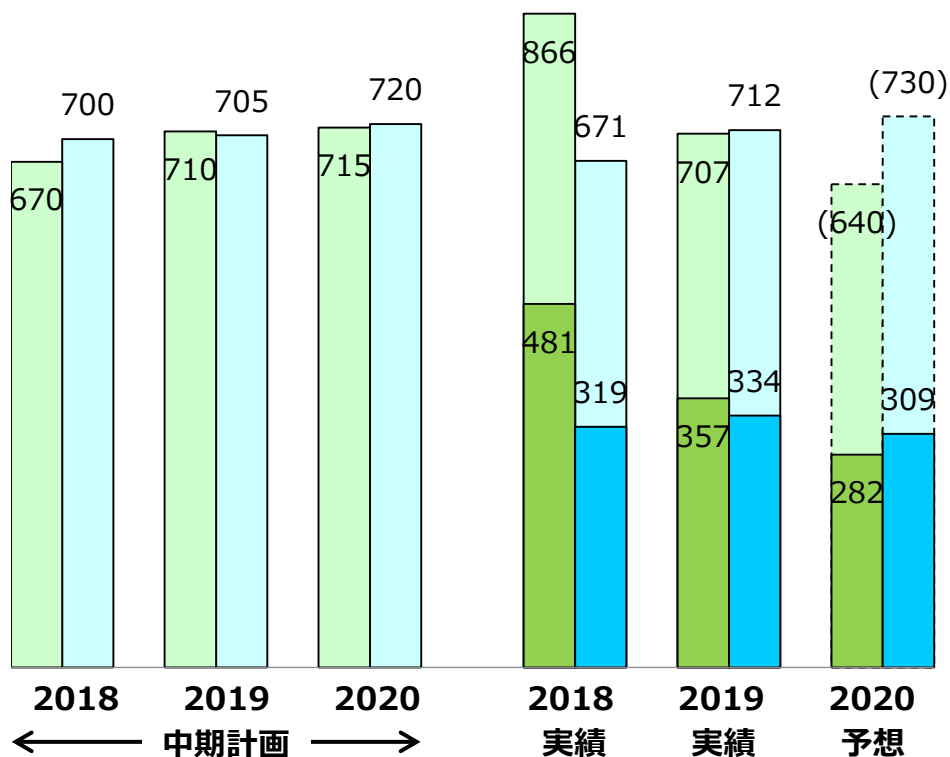
これらの影響を加味し、
受注高は640億円、売上高は730億円
営業利益は34億円、
経常利益は33億5千万円、
親会社株主に帰属する当期純利益は22.5億円
を見込んでおります。

※全社計には3セグメント以外の数値及び連結調整額が含まれるため、3セグメントの合算値と全社計は一致していません。

◆ 年度別数値目標 （単位：億円）

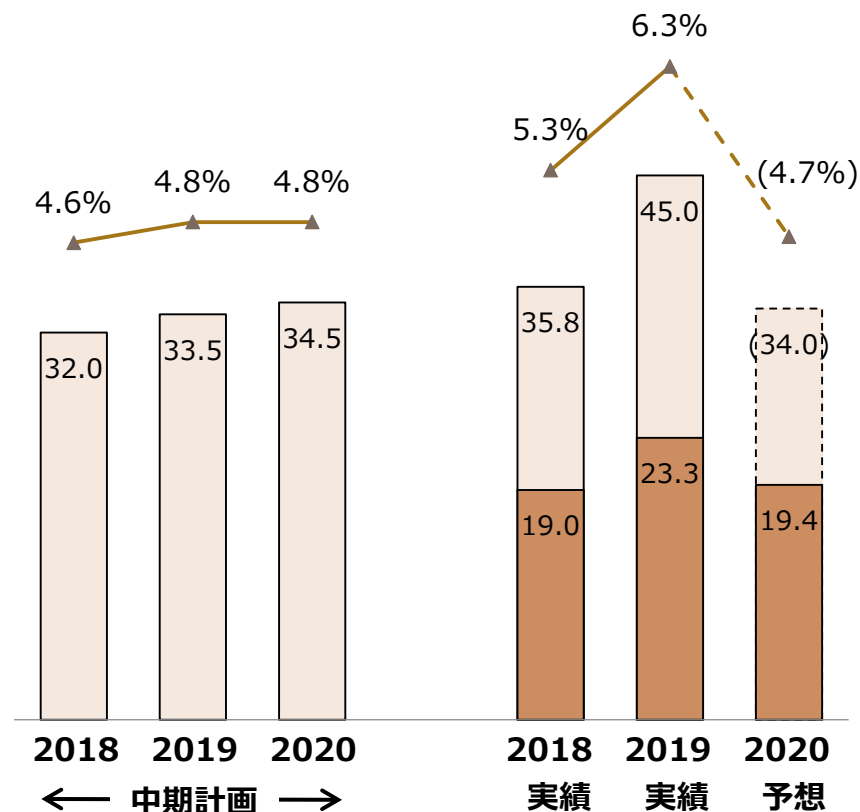
【 受注高・売上高 】

■ 受注高 ■ 売上高



【 営業利益・率 】

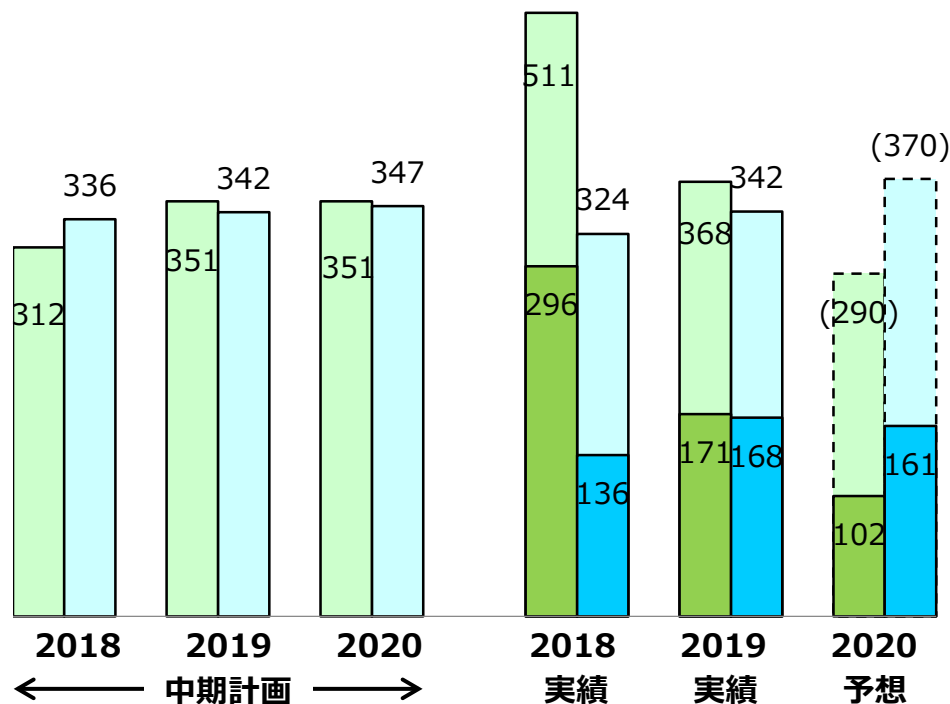
■ 営業利益 ▲ 利益率



◆ 年度別数値目標 （単位：億円）

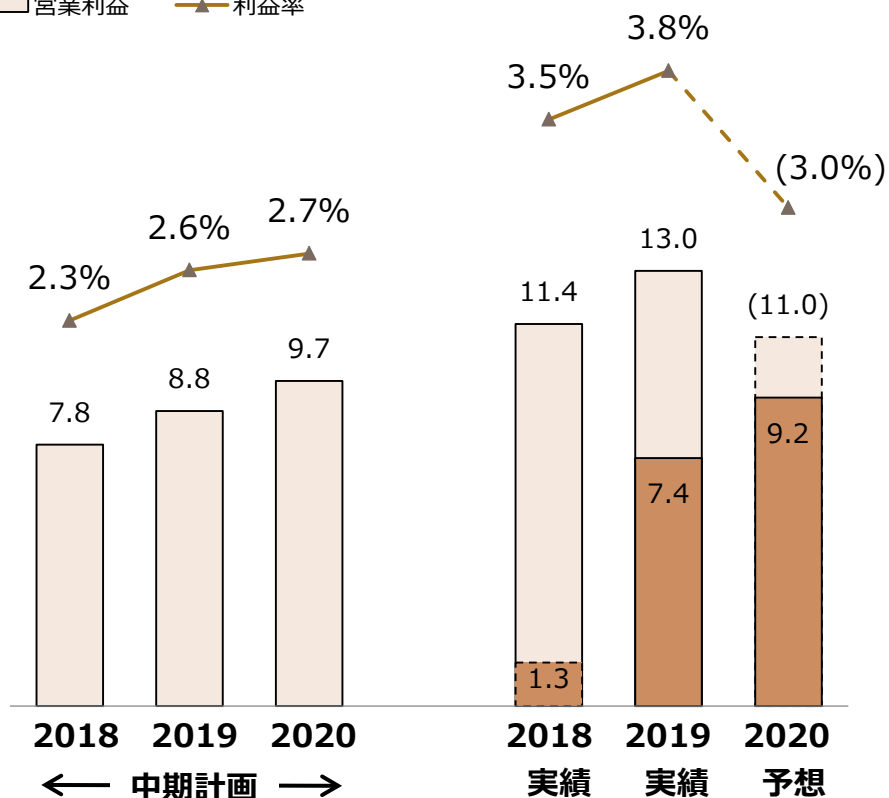
【 受注高・売上高 】

■ 受注高 ■ 売上高



【 営業利益・率 】

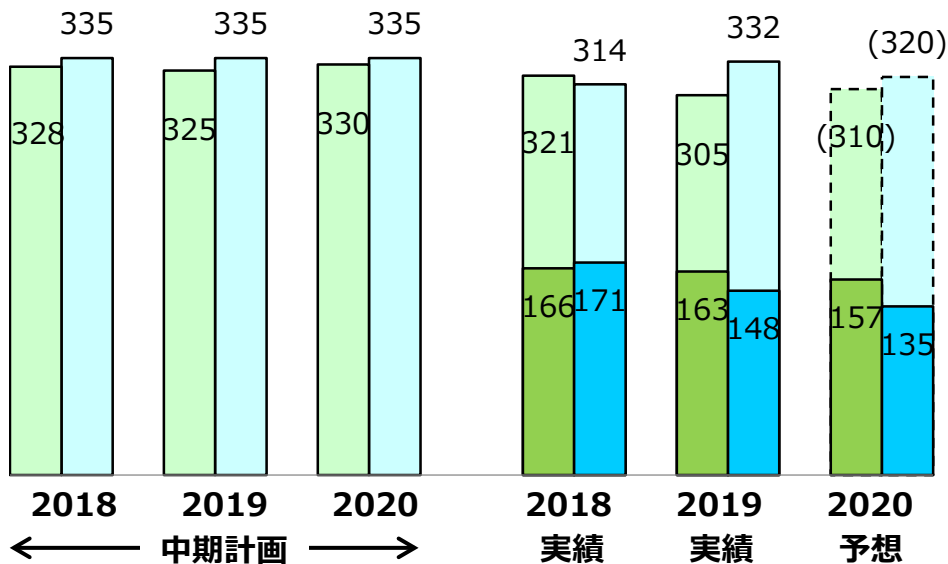
■ 営業利益 ▲ 利益率



◆ 年度別数値目標 （単位：億円）

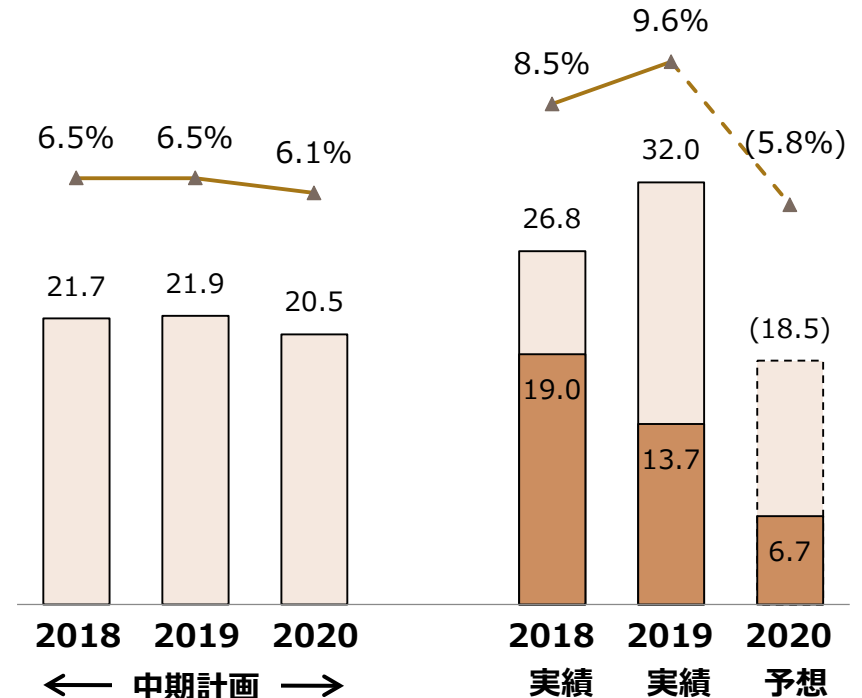
【 受注高・売上高 】

■ 受注高 ■ 売上高



【 営業利益・率 】

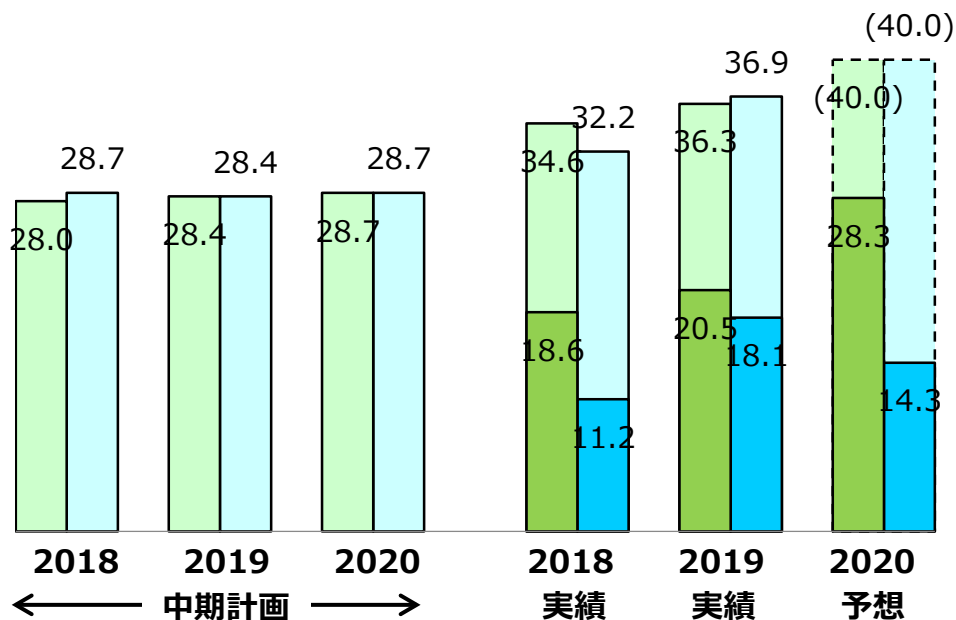
■ 営業利益 ▲ 利益率



◆ 年度別数値目標 （単位：億円）

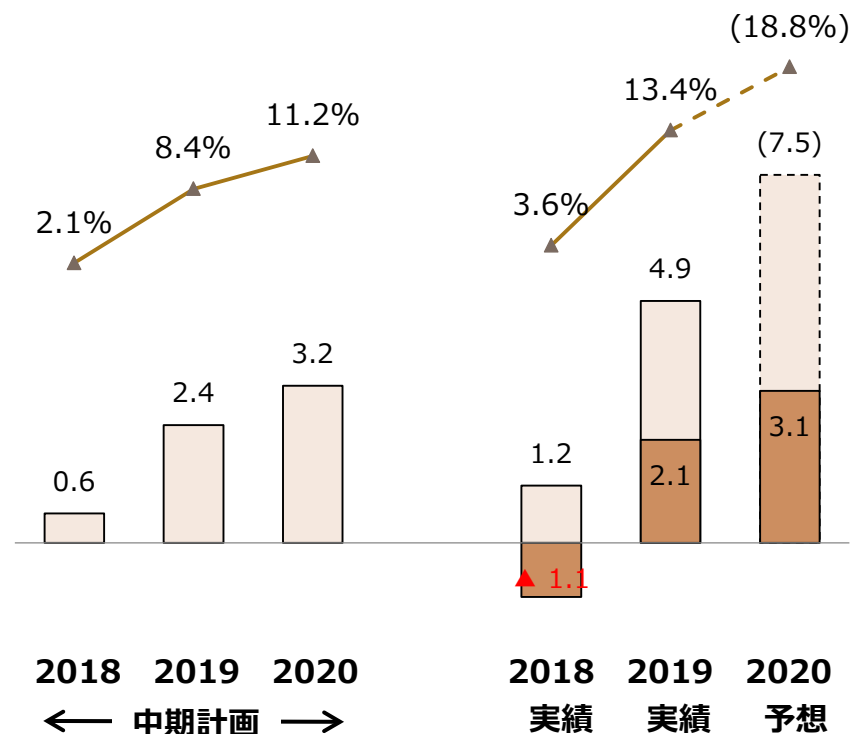
【 受注高・売上高 】

■ 受注高 ■ 売上高



【 営業利益・率 】

■ 営業利益 ▲ 利益率

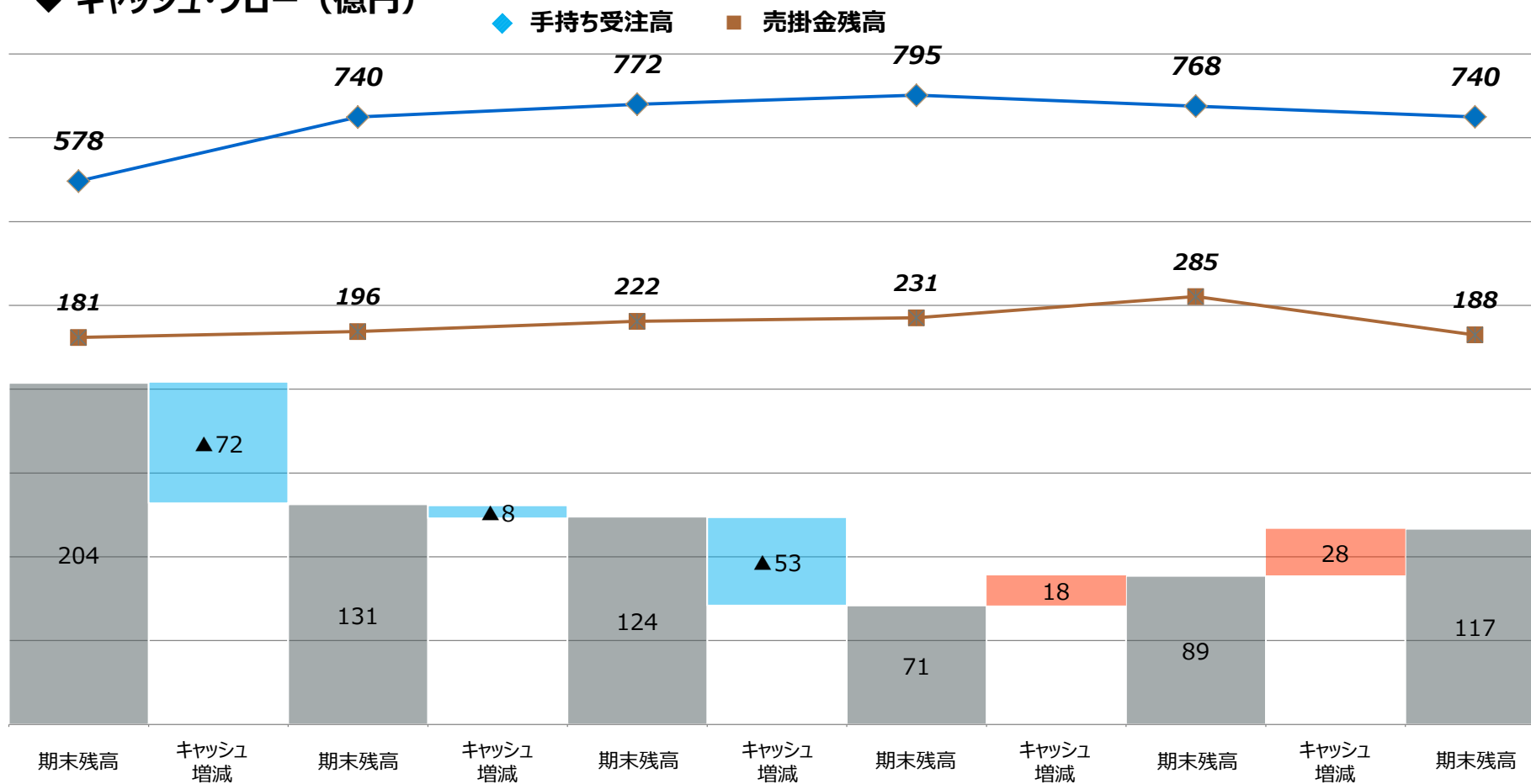


全社業績（連結）



株式会社 不動テトラ

◆ キャッシュ・フロー（億円）



下期	上期	下期	上期	下期	上期
2018年3月期	2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期

全社業績（連結）

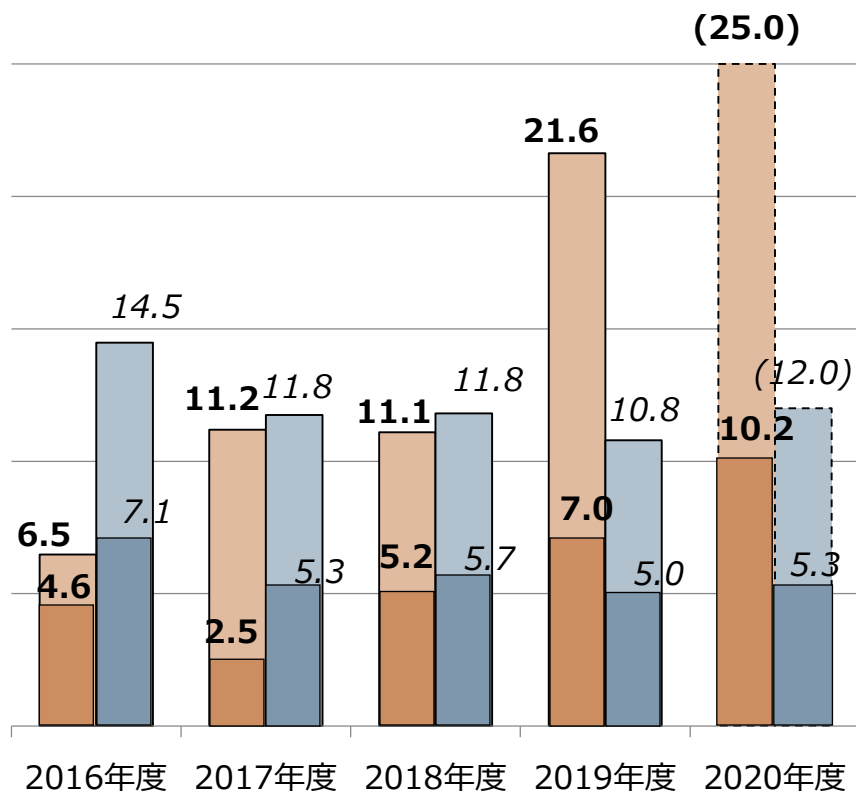
※見通しについては（ ）書きにしております



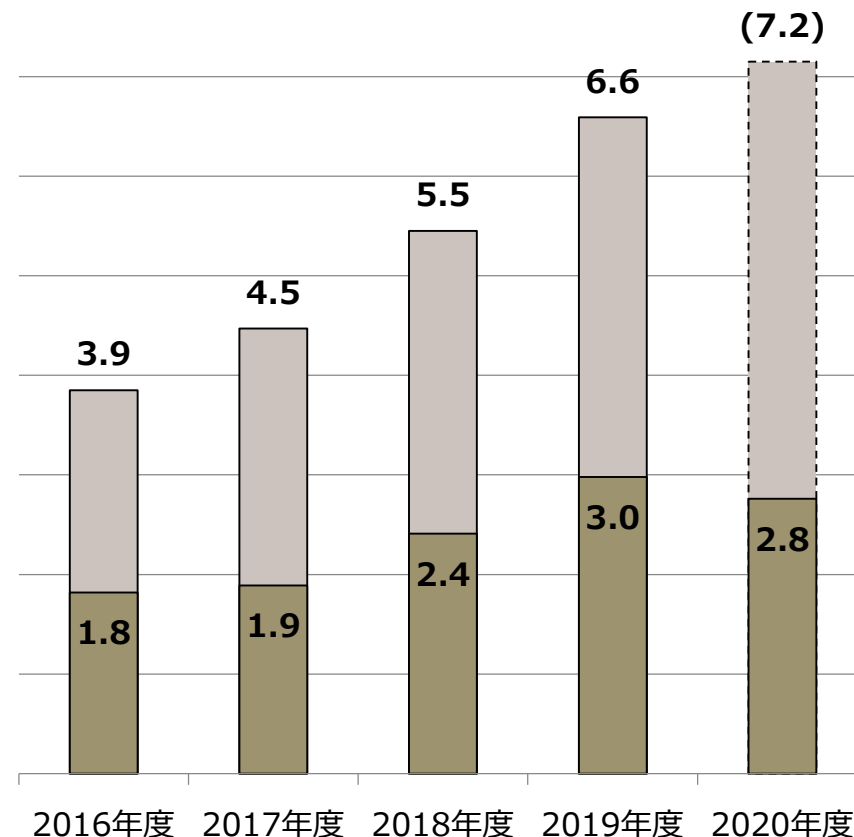
株式会社 不動テトラ

■ 設備投資（億円）

■ 減価償却費（億円）



■ 研究開発（億円）



◆ 主な完成工事

工事名称	事業主体	施工場所
国道45号 千徳地区道路工事	国土交通省東北地方整備局	岩手県宮古市
(仮称)ハロウィンターナショナルスクール安比新築工事	株式会社岩手ホテルアンドリゾート (発注者:鹿島建設株式会社)	岩手県八幡平市
第二戸越幹線整備工事(下水道本管立坑整備)	東京都品川区	東京都品川区
姉崎火力発電所発電設備建設土建工事	株式会社JERA (発注者:鹿島建設株式会社)	千葉県市原市
広域河川堀川改修工事(R1五条橋その3)	名古屋市緑政土木局	愛知県名古屋市
宇治系送水管路更新・耐震化工事(宇治市街地第3工区)	京都府	京都府宇治市
平成31年度名瀬港(立神地区)防波堤(沖)災害復旧築造工事(第2次)	国土交通省九州地方整備局	鹿児島県奄美市

◆ 主な受注工事

工事名称	事業主体	施工場所
道央圏連絡道路江別市南6線改良工事	北海道開発局(発注者:岩倉建設株式会社)	北海道江別市
仙台空港B滑走路地盤改良外工事	国土交通省東北地方整備局	宮城県名取市
双葉駅西側第一地区基盤整備(その1)工事	独立行政法人都市再生機構 (発注者:田中・青木あすなろ復旧・復興建設工事共同企業体)	福島県双葉郡双葉町
新本牧ふ頭建設工事(その15・外周護岸B-2地盤改良工)	横浜市港湾局	神奈川県横浜市
広域河川扇川・大高川改修工事(R2大高)	名古屋市緑政土木局	愛知県名古屋市
あま市新市庁舎整備工事	あま市(発注者:株式会社奥村組)	愛知県あま市
松浦・松浦発電所前間36k330m付近西九州道松浦4号橋下部工新設他	松浦鉄道株式会社	長崎県松浦市
令和2年度指宿港海岸(湯の浜地区)突堤(大山崎)築造外1件工事	国土交通省九州地方整備局	鹿児島県指宿市

トピックス

TOPICS

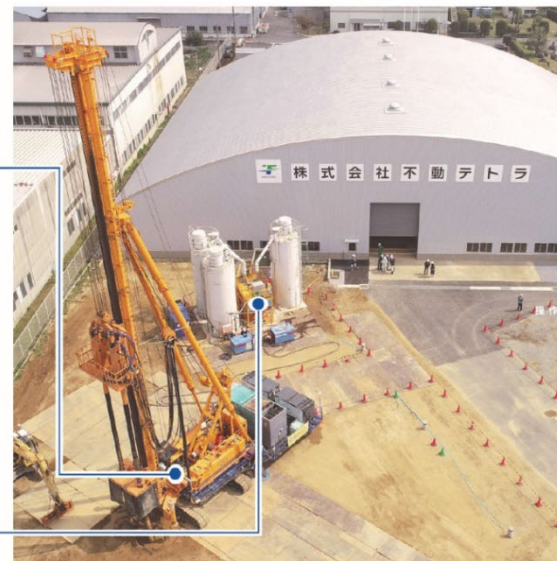
大型地盤改良機で初めての自動打設システム「GeoPilot®-AutoPile」

大型地盤改良機で初めてとなる自動打設システム「GeoPilot®-AutoPile」（ジオパイロット・オートパイル）を開発し、2020年6月にプレスリリースしました。今回対応したのは深層混合処理工法のCI-CMC工法であり、対応工法は順次拡大する予定です。攪拌軸の貫入・引抜速度、セメントスラリーの吐出量などが適切な値になるように、施工機を自動で制御します。少子高齢化が進む中、将来の担い手確保と生産性の向上を目指して、ICTを活用した技術開発を行っています。

特徴

- ① 操作の簡素化 施工中にオペレータが行っていた15種類に及ぶ操作が、4回の画面タッチだけになります。
- ② 習熟期間の短縮 3年程度かかっていたオペレータの習熟期間を約3分の1に短縮できます。
- ③ 確実な品質の提供 施工誤差やオペレータの熟練度による品質の差異が少なくなります。
- ④ 安全性の向上 各種センサーにより施工機の状態を監視し続け、注意喚起や適切な制御を行います。

※ GeoPilot®は当社の自動化技術のシリーズ名です。



施工機操作の比較

項 目	内 容	操 作	
		手動運転	GeoPilot®-AutoPile
貫入開始	開始信号の送信	開始アイコンタッチ	開始アイコンタッチ
	オーガーモータの回転	制御ボタンON	自動
	攪拌軸の貫入	速度を確認しながら レバー操作	
セメントスラリー吐出	流量調整	規定量になるように ダイヤル調整	
	攪拌軸の貫入停止	レバー中立操作	
	グラウトポンプの停止	制御ボタンOFF	
貫入終了	終了信号の送信	終了アイコンタッチ	終了アイコンタッチ
先端処理	攪拌軸の引上げ	速度を確認しながら レバー操作	自動
	攪拌軸の再貫入	速度を確認しながら レバー操作	
引抜き開始	開始信号の送信	開始アイコンタッチ	開始アイコンタッチ
	オーガーモータの停止	制御ボタンOFF	自動
	攪拌軸の引上げ	速度を確認しながら レバー操作	
引抜き終了	攪拌軸の引上げ停止	レバー中立操作	
	オーガーモータの停止	制御ボタンOFF	
	終了信号の送信	終了アイコンタッチ	終了アイコンタッチ
施工終了	終了信号の送信	終了アイコンタッチ	終了アイコンタッチ

台風被害の応急復旧に使命感を持って貢献

昨年10月に台風19号の高波等により被災した中日本高速道路（株）管轄、西湘パーキングエリア（下）の破損した既設構造物の撤去や消波ブロック等の災害復旧にあたり、要請に応じて迅速に対応し「西湘バイパス沿岸漁業に多大なる貢献をされた」と感謝状をいただきました。また台風21号がもたらした大雨により被災した東日本高速道路（株）管轄、常磐自動車道の法面 1 箇所、首都圏中央連絡自動車道の法面 2 箇所を、夜間の緊急要請にも対応して応急復旧させるとともに、首都圏高速道路網の復旧に貢献することができました。この災害応急復旧対応に「社会的使命である安全で安心な高速道路空間の提供に大きく貢献するものである」と感謝状を授与していただきました。

◇谷和原管内のり面災害応急復旧工事

事業主体：東日本高速道路株式会社 施工場所：茨城県つくば市、つくばみらい市、牛久市、稲敷市



首都圏中央連絡自動車道での被災状況



復旧工事完了後

◇西湘バイパス 西湘PA（下）災害応急復旧作業

事業主体：中日本高速道路株式会社 施工場所：神奈川県小田原市

愛知ベース工業Gを子会社化

戸建て住宅や小規模～中規模の建築構造物基礎の地盤改良工事を得意とする愛知ベース工業グループとの株式譲渡契約締結により、持株会社として愛知ベース工業株式会社の株式を保有する株式会社ABホールディングスならびに株式会社BASE・ECO、日本土質試験センター株式会社（以下、「愛知ベース工業グループ」といいます。）の株式を100%取得し、グループ化しました。

愛知ベース工業グループの中核となる愛知ベース工業は、愛知県岡崎市に本社を置き、2000年の会社設立以来、愛知県を中心として主に戸建住宅基礎の地盤改良工事を手掛けています。

これにより、当社地盤改良事業は、戸建住宅や中小規模の建築構造物基礎における地盤改良市場へ参入し、事業領域の拡大を目指します。

建築市場	大規模地盤改良	中規模地盤改良	小規模地盤改良	戸建地盤改良
想定工事規模(1件あたり)	2000万円以上	400～2000万円	100～400万円	100万円以下
主な対象構造物	大型物流施設 大型オフィスビル 学校・病院・庁舎 など	マンション 老人ホーム、幼稚園 小型工場 など	アパート(2～3階) コンビニ 小型倉庫 など	戸建住宅 (30～40坪) 付帯設備 など
推定市場規模	300～400億円	500～800億円		500～600億円
現在の主力事業領域	不動テトラの建築市場	狭間の市場		愛知ベース工業の市場
将来の事業領域	不動テトラの建築市場	営業協力・技術指導		愛知ベース工業の市場



建築基礎の地盤改良市場における両社の事業領域の関係

ブロック環境事業について

取締役常務執行役員ブロック環境事業本部長 中西勉

事業の柱



土木事業：一般土木工事業

インフラ施設の建設



地盤事業：地盤改良工事の専門工事業

地盤の強化



ブロック環境事業：消波ブロック型枠貸貸事業

波浪・侵食対策



※地盤改良、消波ブロックに関してはシェアナンバー1の実績を誇ります。

型枠賃貸



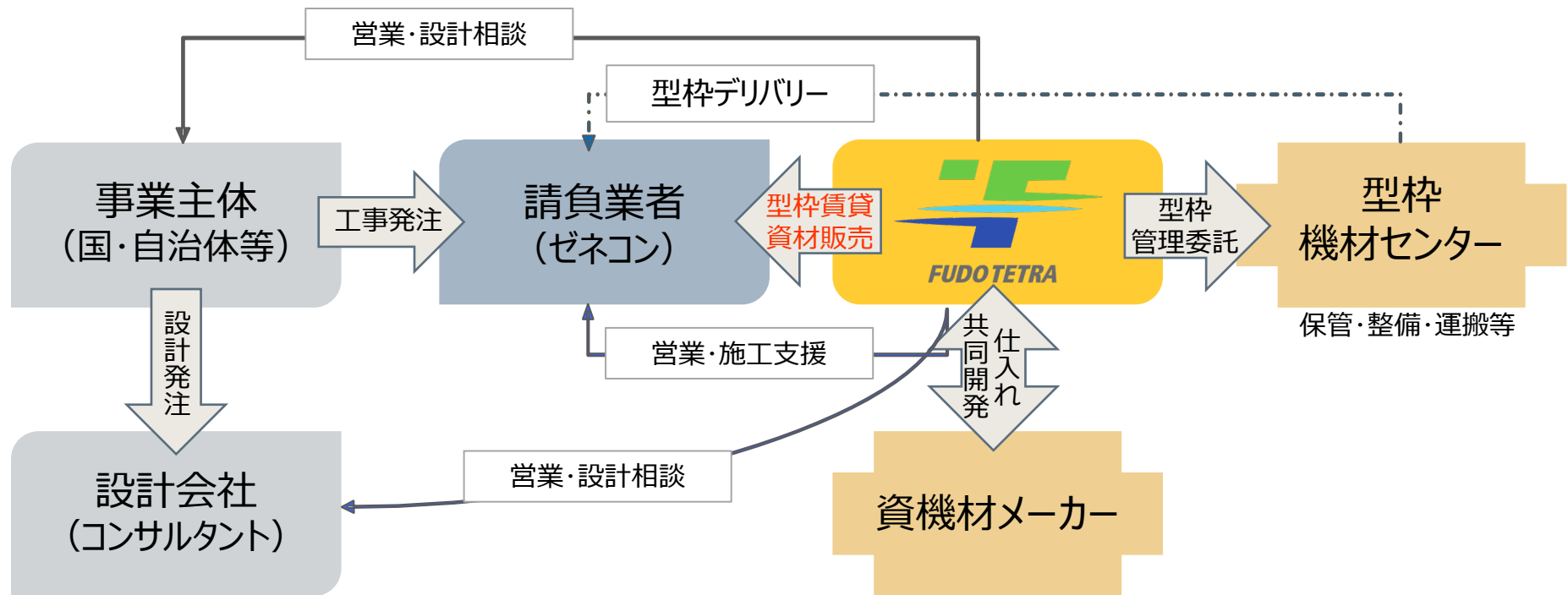
環境景観商品販売



「テトラポッド」に代表される消波根固ブロックを中心に
型枠賃貸や**環境景観商品の販売**を行うとともに、
水際線におけるさまざまな技術・設計サービスや、
景観と生態系を守る製品の開発・販売を行っています。



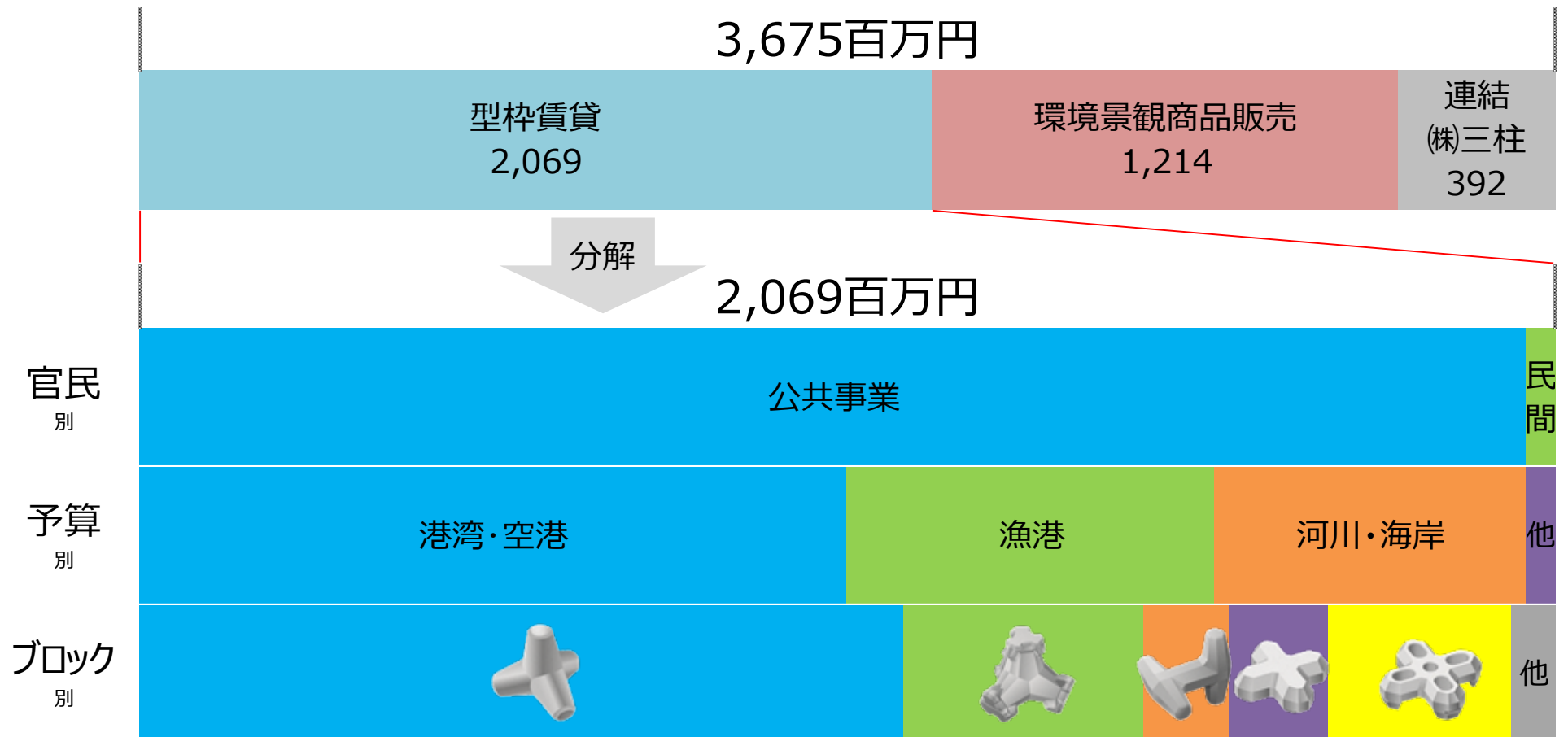
1. **型枠賃貸事業**：消波根固ブロックの型枠リース
2. **環境景観商品販売事業**：各種資機材販売等



ブロック環境事業売上構成 (2019年度実績)



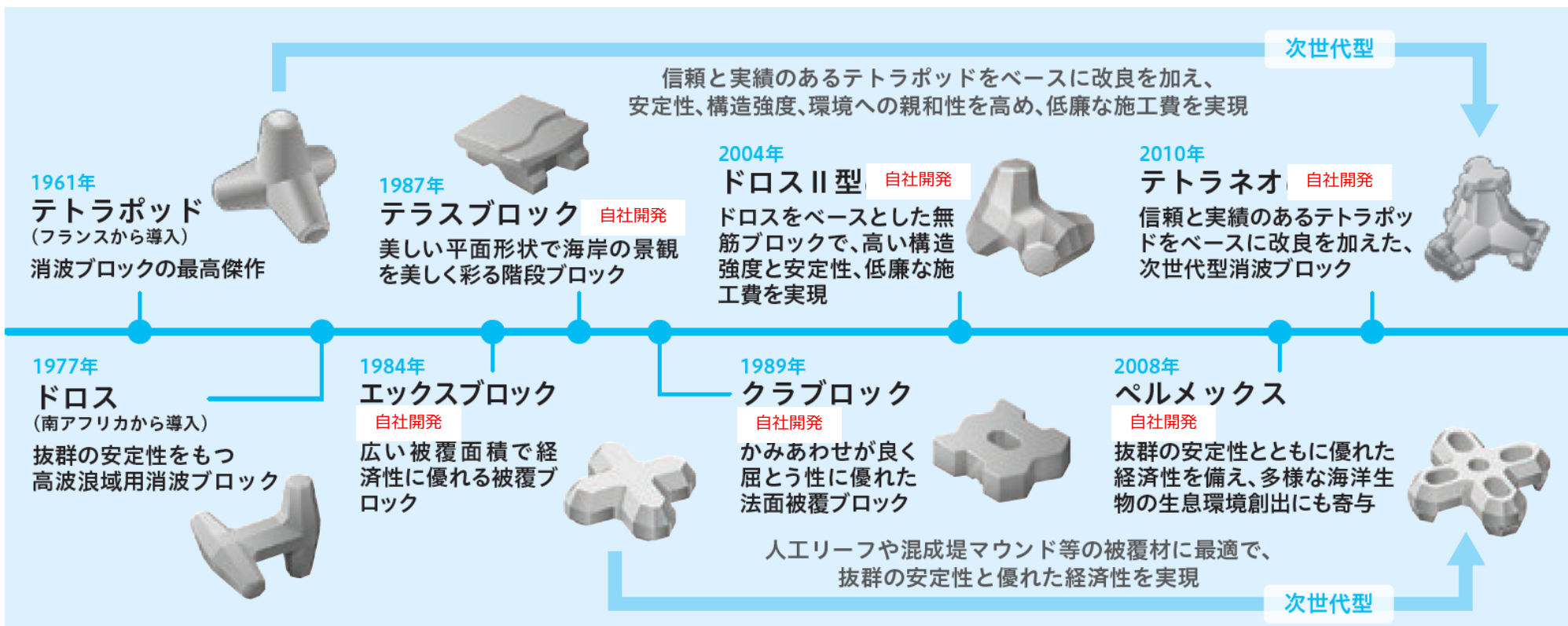
株式会社 不動テトラ



- メインの型枠賃貸は、公共比率が高く、港湾・空港市場に強みがあります。
- テトラポッドが主力商品ですが、次世代型ブロックも徐々に売上を伸ばしています。

テトラポッドで培った技術と信頼をベースに幅広いニーズに対応

- 河川上流の山間部から、河川中流、下流、そして海に至る領域において、様々なニーズに対応した製品をラインナップしています。
- テトラポッドで培った信頼と実績をもとに、経済性や安定性に優れた次世代型ブロックも開発し、実績を増やしています。



①型枠賃貸料：ブロック製作1個当り賃貸料 × 製作個数（≠貸与期間）

ex. 20t型テトラポッド100個製作 … 33,510円／個 ×100個 = 3,351,000円（定価）

②型枠賃貸期間：2～3ヶ月程度（型枠貸与数＝ブロック製作個数の1割を標準）

ex. ブロック100個製作⇒10組貸与 … 1組の型枠で10個製作完了で貸与期間は終了。

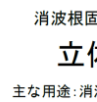
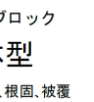
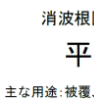
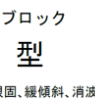
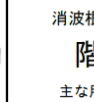
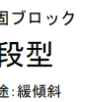
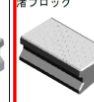
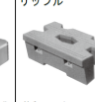
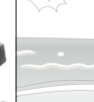
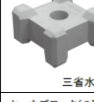
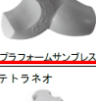
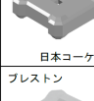
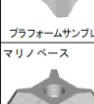
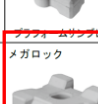
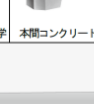
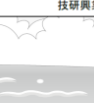
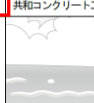
③ブロック製作箇所：工場ではなく、使用（設置）箇所の近隣ヤード

ブロック輸送上の問題やコストの関係から、使用箇所近隣に型枠を持ち込み、ブロックを製作。



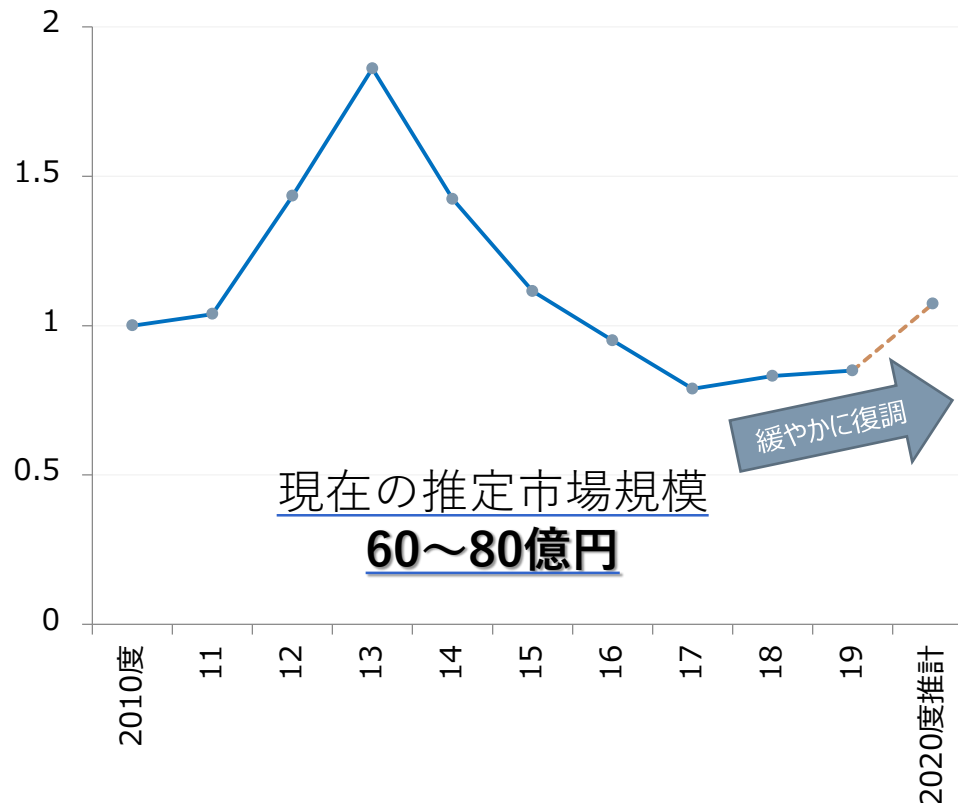
競合他社商品一覧 (赤枠：当社グループ商品)

日本消波根固ブロック協会 会員数は15社 (2020.03現在)

消波根固ブロック 立体型 主な用途：消波、根固、被覆				消波根固ブロック 平型 主な用途：被覆、根固、緩傾斜、消波				消波根固ブロック 階段型 主な用途：緩傾斜				アゴスII		エスカブロック		コスト				
																				
東洋水研	三省水工	日建工学	菱和コンクリート	三柱	不動テトラ	三谷セキサン	東洋水研	日本コーケン	三谷セキサン	菱和コンクリート	三谷セキサン	日本コーケン	日本コーケン	三柱						
																				
本間コンクリート工業	共和コンクリート工業	日本コーケン	日本コーケン	三谷セキサン	三谷セキサン	三谷セキサン	本間コンクリート工業	三谷セキサン	チスイ	不動テトラ	チスイ	本間コンクリート工業	共和コンクリート工業	三柱						
									各ブロック諸元は変更する場合がございますので、 該当会社ホームページ等でご確認ください。											
チスイ	三柱	日建工学	三省水工	本間コンクリート工業	菱和コンクリート	三省水工	三省水工	日建工学												
									直立消波ブロック 直積型 主な用途：消波											
三省水工	本間コンクリート工業	三谷セキサン	三谷セキサン	チスイ	日建工学	日本コーケン	日本コーケン	共和コンクリート工業									技研興業	東洋水研	不動テトラ	三柱
																				
技研興業	チスイ	不動テトラ	不動テトラ	本間コンクリート工業	技研興業	三谷セキサン	三谷セキサン	不動テトラ	日建工学	本間コンクリート工業	技研興業	飯田建設	三省水工							
									直立消波ブロック 函塊型 主な用途：消波											
不動テトラ	飯田建設	日建工学	技研興業	三谷セキサン	菱和コンクリート	共和コンクリート工業	三柱	共和コンクリート工業									三柱	三谷水工		
																				
				チスイ	共和コンクリート工業	菱和コンクリート	技研興業													

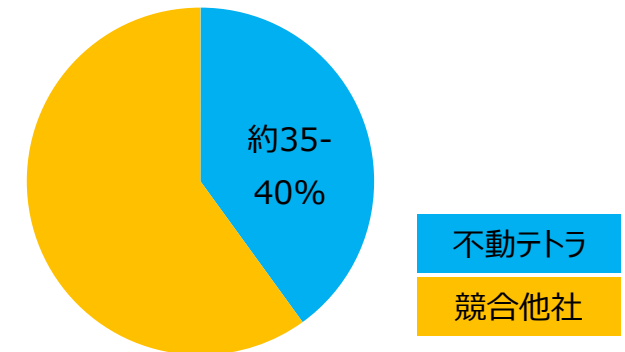
ブロック（型枠賃貸）市場とシェア

■ 型枠賃貸市場推移（指数） 2010年度 = 1.0

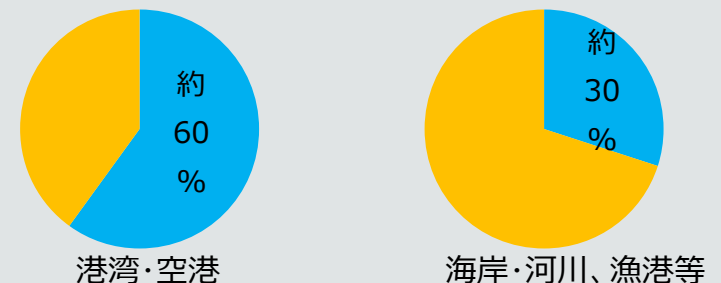


- ブロック（型枠）賃貸市場は、東北震災復興に伴い、2013年度がピークでした。
- 震災需要が一巡し、縮小傾向にあった市場は、国土強靱化政策や相次ぐ激甚災害需要により足元では緩やかな復調傾向となっています。

■ 不動テトラ（連結）シェア



事業予算別シェア推計



- 当社（連結）のシェアは、約35-40%と業界首位
- 得意市場の「港湾」：圧倒的な実績を有するテトラポッドや高波浪用ブロック等でシェアを堅持します。
- 「海岸・河川等」市場：価格競争力の高い、新型ブロックを中心に、シェアアップ目指します。

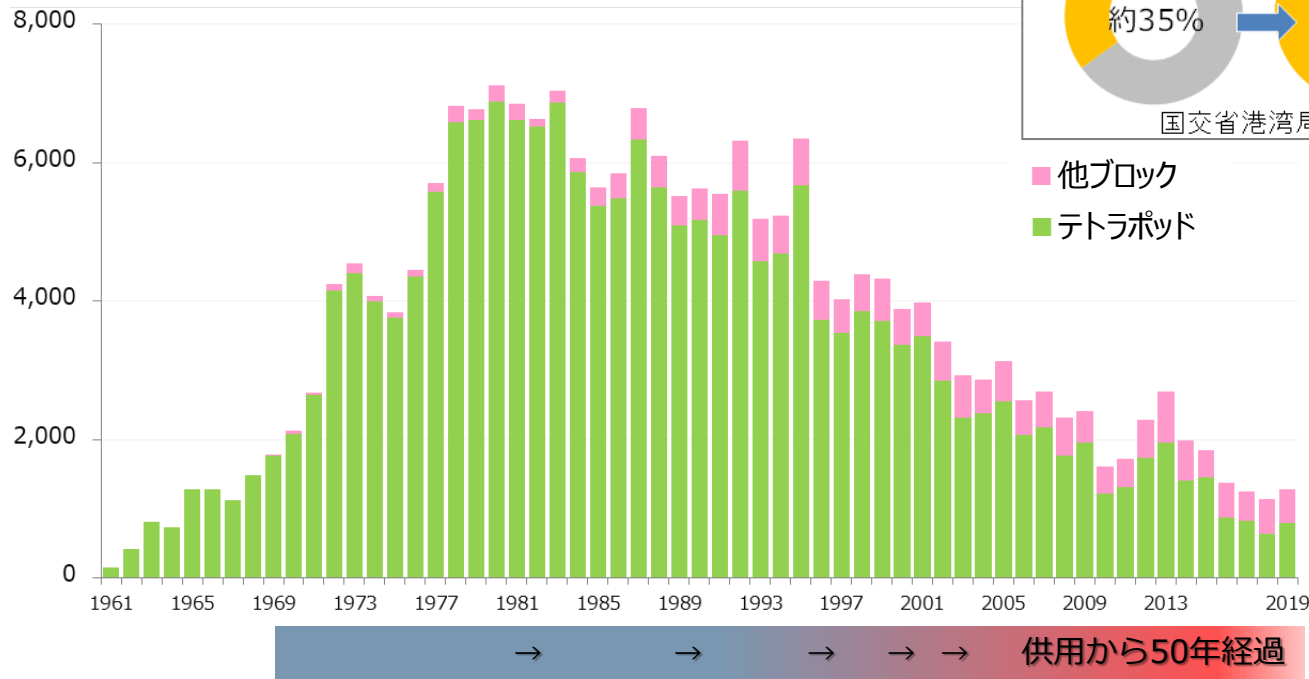
事業拡大に向けた取組 / 老朽化対策（嵩上）



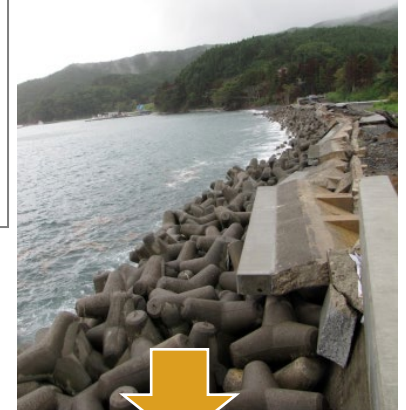
株式会社 不動テトラ

- テトラポッドを中心とした当社ブロックは高度経済成長期の急激なインフラ整備に伴い、1970年代から1990年代にかけ全国で大量に使用されてきました。
- 今後、供用開始から半世紀以上経過する施設も増加傾向にあり、施設機能維持・強化を目的とした一定量の老朽化対策（嵩上）需要が期待できます。

■ 現在までに使用された当社ブロックの総トン数（単位：千トン）



施設老朽化



沈下して断面復旧のための嵩上



ICT技術を活用したブロック維持管理手法の開発

- 消波工の調査・設計・施工・維持管理への3次元データの活用方法を研究、測量データからブロックの3Dモデルを再現する手法を開発しています。
- ドローン等のICT技術活用と3Dモデルの再現手法を組み合わせることで、消波工の維持管理の更なる高度化・効率化が期待できます。



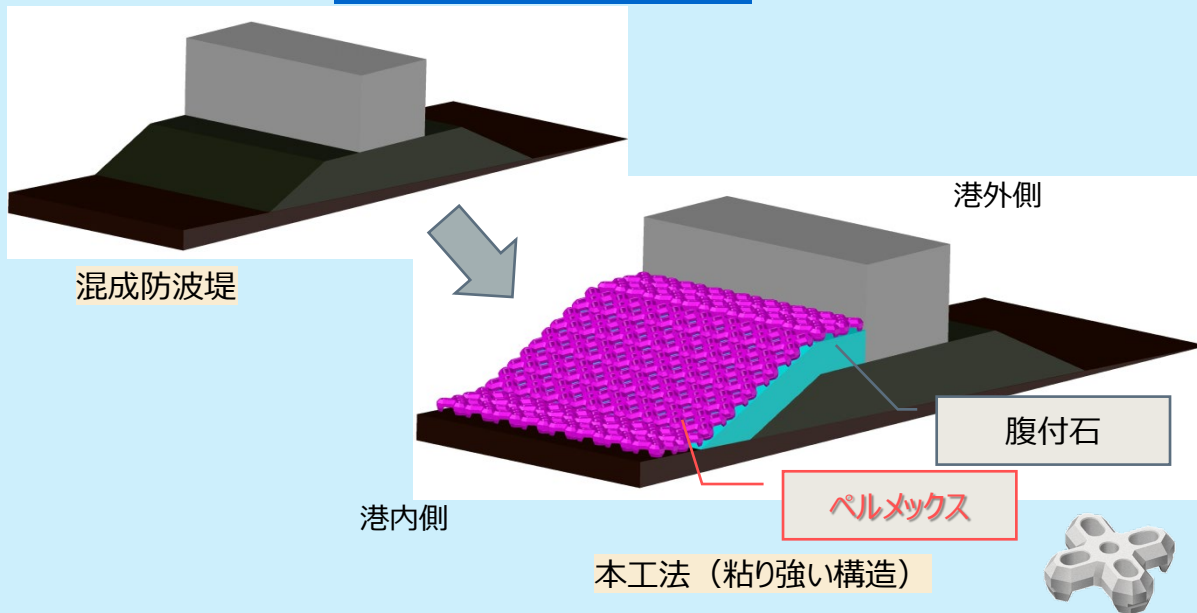
事業拡大に向けた取組 / 津波対策

東日本大震災の教訓を踏まえた巨大地震津波対策

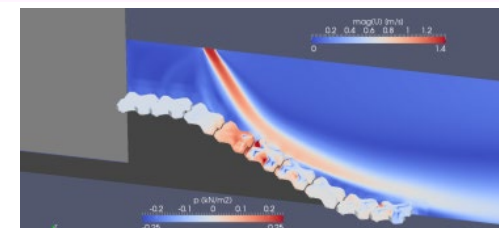
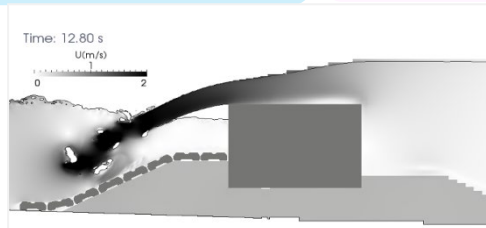
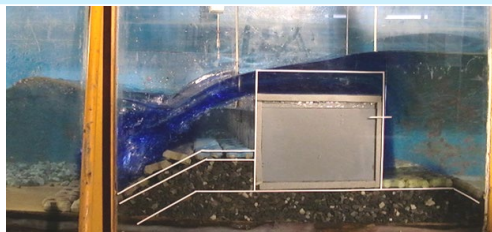
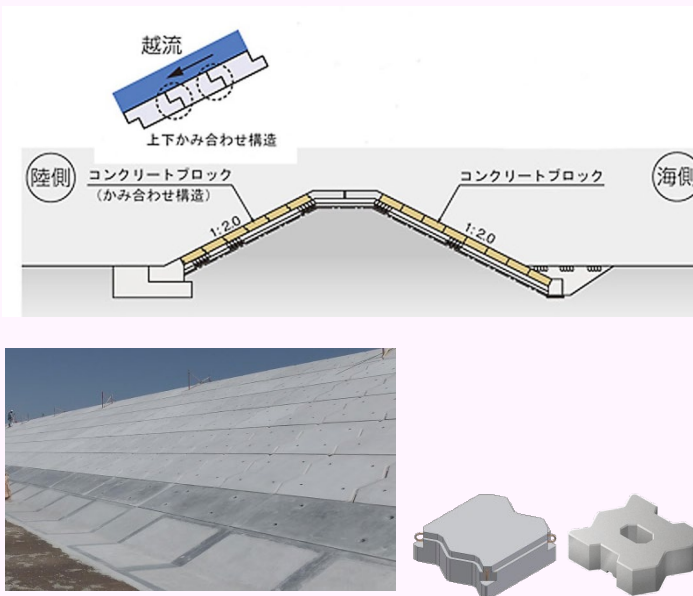
- 東北震災の教訓を基に、ブロックを用いた津波対策工法の研究・開発を実施してきました。
- ハード対策：構造物の「粘り強い化」で津波被害の減少や、避難時間の確保が期待できます。



港湾・漁港：防波堤



海岸・河川：防潮堤・護岸



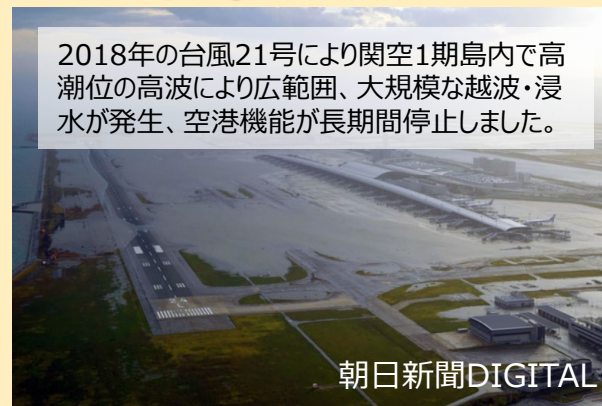
激甚化・頻発化・広域化する自然災害への対応

- 自然災害が頻発する中、防災・減災、国土強靱化に向けた対策が推進されています。
- ブロック技術は、施設の復旧のみならず、機能強化にも貢献します。

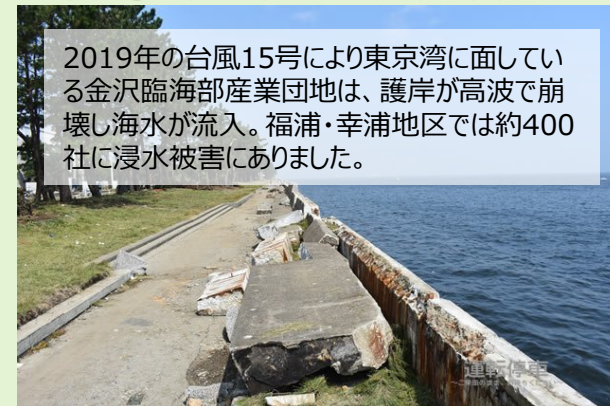


激甚化する自然災害

事例①：関西国際空港



事例②：横浜市金沢区福浦・幸浦地区

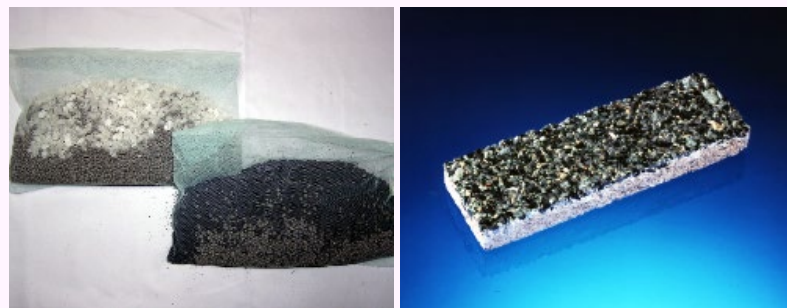


ブルーカーボンに資する消波根固ブロック

- ブルーカーボンは、海洋生態系に蓄積される炭素であり、主に植物による炭素固定が対象となります。
- 消波根固ブロックは海藻類の藻場となり、炭素固定への貢献が期待できます。



■ イオンカルチャー（藻場造成促進：イオン溶出ガラス材）



藻類の生長に必要なリン、珪素、鉄等をガラス化した素材で、中に含んだ成分を水中でイオンの状態で溶出します。

イオンカルチャーを使用することで、早期の藻場造成、効率的な付着珪藻の増殖など藻類の生長が促進されます。



■ ブロックに着生した藻類



洋上風力発電 着底式構造物への洗掘防止対策工

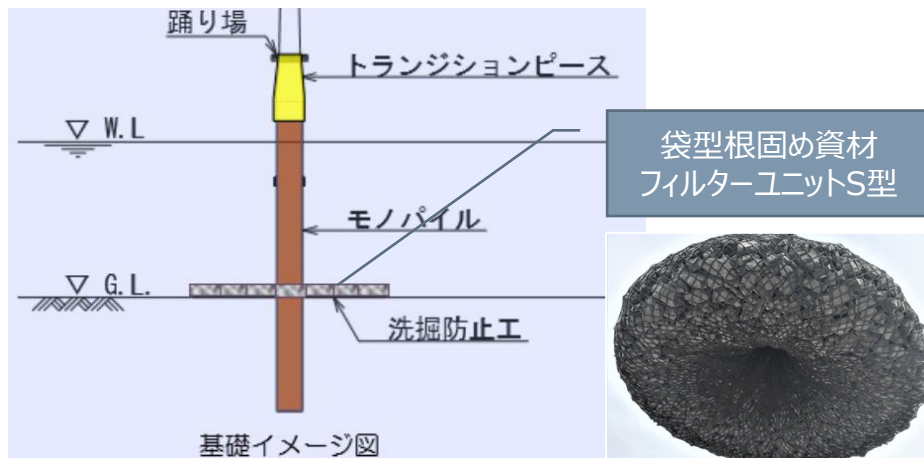
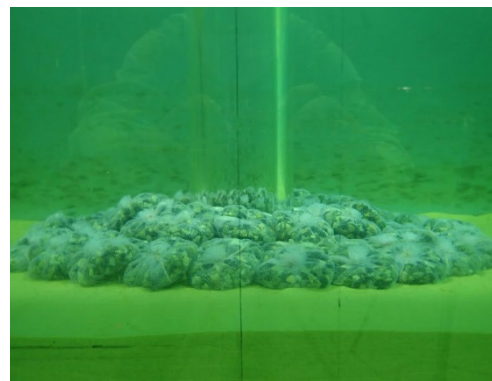


- 近年、洋上風力発電の実用化に向けた動きが活発化しています。
- 袋型根固資材（フィルターユニットS型）を主体に、着底式構造物への洗掘防止対策工への適用を目指します。

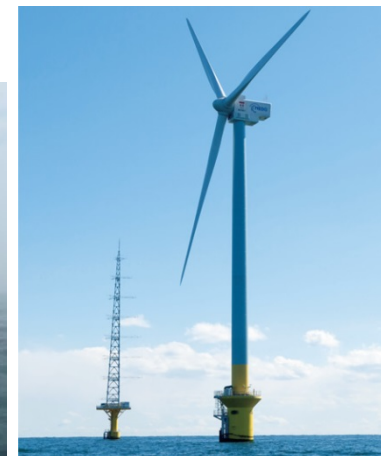
■ 洋上風力発電施設（イメージ図）



■ 当社 総合技術研究所での水理実験状況



■ 国内洋上風力発電施設



海外展開

- ODA（政府開発援助）案件：アフリカで2件の受注
- 韓国提携企業への次世代型ブロックのライセンス（実施許諾）付与



● ODA（政府開発援助）案件：アフリカで2件の受注



- トーゴ_ロメ漁港 2017~2018年
テトラネオ 6t型 約3,300個他



- マダガスカル_トアマシナ港
2019年~ 施工中
ドロス 50t型 約3,100個他

- 韓国提携企業（NEOTECH社）と新型ブロック3種のライセンス契約を締結（2012年）しています。
- 現在までに韓国内で14箇所の施工実績を有します。



九市浦港（GuSiPo）港
テトラネオ 12t型



良浦（YangPo）港
テトラネオ 50t型 他

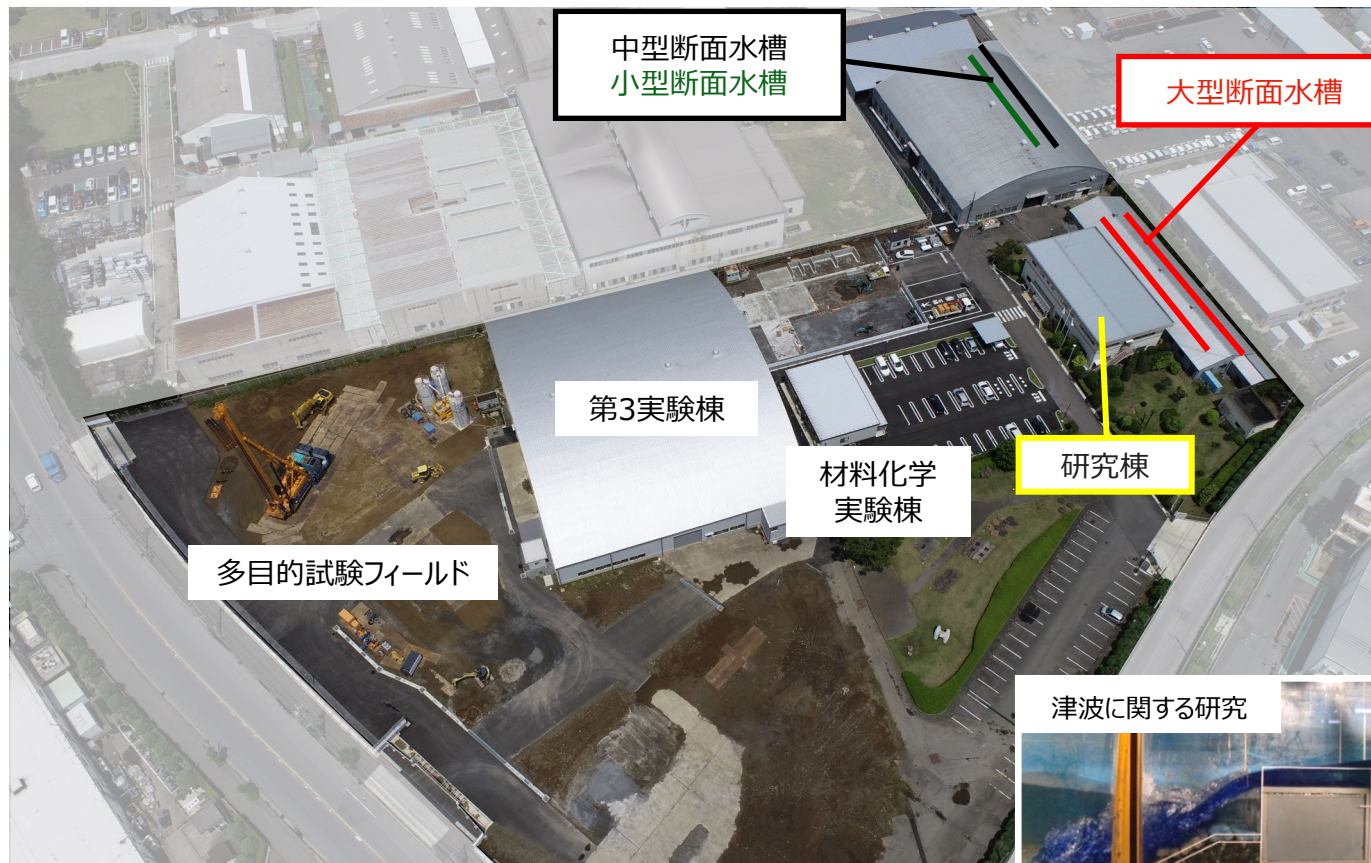


西歸浦（SeoGwipo）港 ドロスⅡ 100t型

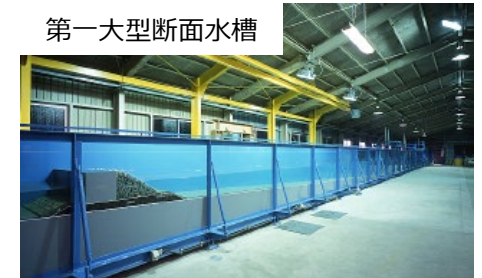


土木・地盤・ブロック環境の3事業の研究開発を担う総合技術研究所

- 海や河川において波浪や流れに曝される構造物（主に消波ブロックや被覆ブロック）の水理安定性や水理機能に関する研究開発を行っています。
- 断面水槽は4本あり、不規則波造波装置が備え付けられ高精度な実験が可能です。



第一大型断面水槽



第二大型断面水槽



構造実験施設



自然と調和しながら
港湾・漁港・海岸・河川の施設や海浜を護り、
国土強靱化に貢献します



株式会社不動テトラ

管理本部 CSR推進部 松渕隆利

TEL : 03-5644-8575



(注意事項)

本資料に記載されている戦略や計画、数値目標等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、経営環境の変化等によって変動する可能性がありますことをご承知おきください。

Memo



株式会社 不動テトラ

[illegible]